

# うっかり、使用すると、ドーピング違反になります

市販薬  
とくに風邪薬

栄養ドリンク

サプリメント  
特に認証  
マークのないもの

喘息  
の薬

漢方薬

ステロイド系の  
薬を粘膜に使用する場合

緑内障の  
目薬

ここに表示されているのは一例です

# ドーピング禁止薬と知らずに使用していませんか？

次のようなお薬を使用していませんか？  
もう一度、ご自分の薬を確認してください。

## ホルモン系のお薬

ステロイド系の薬 成長ホルモン系の薬  
子宮内膜症の治療薬 不妊症治療薬  
脳下垂体刺激ホルモン系の薬  
その他ホルモン治療薬 など

## 気管支ぜんそくの薬、 アレルギー性鼻炎の薬

気管支拡張剤(貼薬を含む)  
ベータ-2作用系の薬  
吸入剤の一部 など

## 利尿を促す薬 興奮させる薬

利尿剤 心不全の薬 強心剤  
緑内障の治療薬(点眼薬を含む)  
精神刺激の薬 高血圧症の薬  
など

## その他

ステロイド系の薬(口内炎、痔、目薬  
等) インスリン、かぜ薬の一部(特に  
市販薬)、麻薬系鎮静剤、骨粗鬆症の  
治療薬の一部など

## ドーピング禁止薬を使っている！ どうしたらいい？

ドーピング禁止薬でないものに変更できるものは変更する。

治療上必要であればTUE申請の手続きをする。



TUE申請の結果、使用許可が出ればTUE許可書が発行される。その許可書はコピーを携帯しておくこと。原本は大切に保管しておくこと。

※TUE申請が必要な場合は連盟HPのお問合せメールから、ご連絡ください。尚、メール対応となりますので、PCメールが受け取れるアドレスをご使用の上「TUE申請について」の件名でお問い合わせください。

## サプリメントは自己責任

最近ではサプリメントを利用することが多くなっていますが、サプリメントにも禁止薬物がはいっていることがあります。成分表示されていてもすべての成分が表示されているわけではありません。サプリメントは使用しないで食品から栄養をしっかりとるほうが望ましいです。特に外国製品には注意が必要です。

漢方薬は成分が確認できないため  
禁止物質が入っていないといいきれないので  
使用しない

# コンタミネーション対策

薬やサプリメントの製造過程においてドーピング禁止薬が混入する可能性もあるため、使用した薬やサプリメントの追跡調査できるように製造番号やロット番号を保管しておきましょう。

## ドーピング検査の対応

ドーピングコントロール大会ではだれでも、ドーピング検査対象となりえます。検査対象となって慌てないためにも下記のサイトで検査の一連の流れについて事前に確認しておきましょう。

# 禁止物質は毎年変わります！

- 2022年からステロイドの関節注射や塗り薬等が禁止されましたので、ご注意ください。

## 参照

[2022年禁止表 解説ウェビナー公開 | 日本アンチ・ドーピング機構 | Japan Anti-Doping Agency \(JADA\) \(playtruejapan.org\)](#)